

2020 10/27

No.2125

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



「横濱ジャズプロムナード2020」が10、11の両日、開催された。横浜赤レンガ倉庫1号館では無観客ライブが行われ、動画で配信された。



# 政経かながわ

2020 10/27 No.2125

## contents

視点点描

3

スポーツの発信力

講演録

4

コロナ禍とヨロズのグローバル経営

ヨロズ代表取締役会長 志藤 昭彦

デモクラシーの現場から

8

見えない菅政権の国家像

政治 誌上座談会

10

菅政権、成長戦略会議が舞台に

官邸は「選手交代」で若返り

アジアの風

16

やっぱ、ドン引きだろ

NNAアジア経済リポート

17

神奈川景気データファイル

18

神奈川景気データファイル

19

### 事務局だより

#### ◇2020年11月定例講演会

2020年11月19日（木）

午後1時30分～3時

横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ5階「日輪」

講師はジェイ・エス・エス代表取締役会長で前衆議院議員の亀井静香氏

演題は「米・中・露の世界戦略にどう対抗するか」

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催方法を変更する場合があります。

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページ（[www.kanagawa-seikou.jp](http://www.kanagawa-seikou.jp)）に会員コーナーを設けました。新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな情報を掲載します。問い合わせは事務局 ☎045（226）2121。

# 視点

## 点描



施策に取り組んできた。

### スポーツの発信力

新型コロナウイルスの世界的な流行で、県内のプロスポーツ界も大きな打撃を被っている。リーグ戦の打ち切りや延期、無観客での試合開催などの影響により、事業の柱である入場料収入は大幅ダウン、前年より4割ほどの減収を見込んでいる球団もある。

えてくるのは、悲観的な声ばかりではない。ホームスタジアムでの試合に収入の多くを依存するビジネスモデルを変えよう、ピンチをチャンスに変えようという、いい意味でのずぶとさがある。

スポーツ観戦の文化が日常から消えた時期、各球団はファンや地域、スポンサー、行政といったステークホルダー（利害関係者）との距離を広げまいと、さまざま

中でも注目したいのが、各球団に共通している、地域の課題解決にも乗り出していくこうという姿勢だ。健康に寄与する運動の特性を重視した取り組みのほか、障害者の雇用確保、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進・実現に向けて行動しようとしているクラブもある。

こうした動きは、環境や社会問題への取り組みに重きを置く「ESG投資」の広がりと無関係ではないだろう。観戦体験だけにとどまらない価値を届け、明確なり

ターンを求めていくスタイルは、

プロスポーツビジネスの新たな地平を切り開く可能性を持つ。

一方、コロナ禍とは無関係だが、アスリートの発信にも変化が見える。テニスの四大大会、全米オープン女子シングルスで2度目の優勝を飾った大坂なおみは、人種差別反対の思いを伝えようと、警官

らの暴力の被害者となつた黒人の名前入りマスクを着用。議論を深めることを世界に訴え続けた。

国内でこうした勇気ある事例はほぼ見当たらないが、日本でも差別や誹謗中傷が街中やネットにふれているのはまごうことなき事実だ。個人の行動だけに任せず、プロスポーツの各団体も恐れるところなく、人権問題にもコミットしていくに違いない。

（神奈川新聞社運動部長  
下屋鋪 聰）